

高松大学 高松大学大学院 高松短期大学 認定こども園高松東幼稚園

2024. 6



恒例

「学外セミナー」

で新入生
を歓迎!

4月中旬から下旬にかけて、
新入生・在学生・教員の相互
交流を図り、親睦を深めるこ
とを目的に学外セミナーを実
施した。

発達科学部は、「童心回帰」
のテーマのもと、教育・保育
職をめざす学生が童心に戻っ

て体験することを目的に、5
年ぶりに1泊2日で小豆島を
訪れた。毎年、2年生の新歓
実行委員が企画・運営に携わ
っている。運動会やB・Q、
カレー作り、先生方によるユ
ニークな5つの講座など、盛
りだくさんの企画で交流を深
めた。最後は、3
コースに分かれて
小豆島を観光して
2日間のセミナー
を終えた。

経営学部と保育
学科は、ユニバー
サル・スタジオ・
ジャパンを訪れた。
経営学部は、US
Jの提供するサー
ビスを経営学的観
点から捉えること
によって学びを深
めた。また、移動
バス内でも教員と
学生間の相互交流
を楽しんだ。
保育学科では、
来場者が心地よく
安全に過ごせる工
夫や「子どもへの

配慮」を見つけ、今後の保育
実践活動に生かすとともに、
学生間の親睦と結束を深める
ことができた。
ビジネスデザイン学科（秘
書科）は、神戸メリケンパー
クオリエンタルホテルで接遇
を学ぶとともに、テーブルマ
ナー等の実習を行い、ビジネ
スセンスを磨いた。その後、
神戸布引ハーブ園で観光を楽
しみながら親睦を深めた。
学外セミナーを契機として、
これからの大学生活が有意義
で充実したものになるよう期
待している。

香川県歯科医師会と「歯科助手受付秘書」

養成に関する協定を締結

2月29日、公益社団法人香川県歯科医師会と高松短期大
学との「歯科助手受付秘書」養成に関する協定書の調印式
を行い、香川県歯科医師会の豊嶋健治会長と本学の佃昌道
学長が協定書に署名した。

この協定は、香川県歯科医師会と高松短期大学の両機関
において、「歯科助手受付秘書」の就業前の教育に厚みを
持たせ、就業時に即戦力となる人材
を養成し、歯科助手・受付の安定した
採用者数を確保することで、地域に貢
献することを目的としている。



この協定をもとに、令和6年度から
本学ビジネスデザイン学科（秘書科）
の医療事務コースでは、医療秘書の養
成に加えて「歯科助手受付秘書」の養
成を開始した。

2024 OPEN CAMPUS

第3回 6/22 土	第4回 7/20 土
第5回 8/17 土	第6回 9/14 土

参加方法 事前申込制・無料送迎バスあり
※お申込み方法・プログラムの詳細は、本学ホームページをご確認ください。
お問い合わせ 入学センター ☎0120-78-5920

高松大学

発達科学部

理想の保育者になるために

発達科学部子ども発達学科1年



菰淵 蒼良
私は、将来、子どもたち一人一人が意思と協調性を持つような援助がしたいです。

そのためには、まず子どもたちをよく観察して、個性を尊重することが大切だと考えています。そこで、普段の授業だけでなく、2年次から行われる実習を通して、教育活動中の危機管理を怠らないようにしながらも、子どもとの関わり方を身につけたいです。

また、保育者は、子どもたちに加えて保護者と話すことも多いです。私は、誰かと会話をすることは好きですが、自分から話しかけることは苦手です。したがって、地域のボランティアなど初めて会う人がある場では、特に、自分から話しかけることを意識して苦手を克服したいです。

大学生としての4年間、学内外で様々なことに挑戦し、得た経験を将来につなげていきたいです。

入学前の不安を解消する
入学準備セミナーを開催

3月28日、入学予定者を対象に入学準備セミナーが開催されました。このセミナーは、入学後の学生生活の円滑なスタートをサポートするために毎年実施しており、今回も2年生のボランティア19名が、スタッフとしていい仕事をしてくれました。

セミナーは、学部長挨拶の後、卒業生4名によるスピーチから始まりました。卒業生は、学生生活や就職活動等について、入学予定者がワクワクすることを軽快に話してくれました。

次に、お楽しみの教員・卒業生・学生との懇談会です。アイスブレイク、聞いておきたい！高大Q&Aコーナーで盛り上がったところで、新入生歓迎セミナーの告知がありました。

参加者は、新世界に飛び込む前の不安を安心と期待に変えることができたと笑顔で会場を後にしていました。

経営学部

充実した4年間で
過ごすために

経営学部経営学科1年

田中 友貴

私は、将来に役立つための



勉強と、クラブ活動で取り組んでいるサッカーを高いレベルでプレイするために、高松大学に入学しました。そのために、

日々の授業やクラブ活動に全力で取り組んでいきたいと考えています。それだけではなく、ボランティア活動やアルバイトなど多くのことにチャレンジして様々なことを吸収し、自分の力にしていきたいと考えています。

また、高校とは違い、大学では、自ら判断し行動することが求められます。これは、社会に出てからも、とても重要なことだと思います。ただ言われたことだけをこなすのではなく、その意味をしつかりと考え、自主的に責任ある行動をとっていきたいと考えています。

充実した4年間で過ごすために、一日一日を無駄にせず、毎日価値のあるものにしていきます。

地域の物産を愛し販売する
プロジェクトからの学び

経営学部経営学科3年

村尾 俊

経営学部経営学科3年

森田 快星

4月22日に高塚ゼミ3年生有志で、夢菓房たからの商品を販売しました。このプロ

ジェクトは、学生や教職員に楽しい昼食時間を提供したいとの思いから始まり、昨年12月で終了しましたが、新入生を迎えた時期に特別に開催しました。私たちにとっては通算4回目、集大成として臨みました。

販売周知のためのポスター制作や、商品のセレクトから会計業務を含む販売まで、幅広くビジネスを疑似体験することができました。どの商品であれば喜んでいただけるか、仕入数量、商品の魅力を伝えるためのディスプレイや声掛けの方法、スムーズで的確な会計方法など、友人たちと試行錯誤しながらの実践でした。



初めての挑戦が多く戸惑うこともありましたが、毎回、すべて売り切れたことは自信につながりました。

ご支援、ご協力くださった皆様、心から感謝いたします。この経験を、就職活動や就職後のキャリア形成に活かします。

探訪／研究室

発達科学部 横川 和章

自己紹介



心理学（教育心理学、社会心理学）が専門です。短大・大学で長く勤務してきました。加えて、幼稚園の園長の仕事や若い頃には趣味の延長で少年野球のコーチなどもしてきました。すべきことを誠実にすることを心がけています。

ゼミナールの特徴

共通のテーマを設定して調べ学習や演習を通して学びを深める活動と、個人個人の関心に基き調べてきたことを発表し議論する活動を並行して行っています。

ゼミ生へ一言

技術を身につけるだけでなく、子どもの育ちや教育・保育のあり方についてしっかりと考えられる人になってほしいと思います。

二十歳の時の自分

授業には出席していましたが、数日に1日は徹夜で遊んでいました。まだ、自分の進路について考えられていなくて、研究者をめざしたのは大学4年生になってからでした。

高松短期大学

保育学科

夢を叶えるために



保育学科1年 井上 ひなた

私はこれらの2年間を通して、一人一人の子どもに向き合い、それぞれに合った保育ができるような保育者になりたいと考えています。

子どもの発達段階には個人差があります。だからこそ、一人一人を理解し寄り添っていきたくと思っています。そのために短大生活の中で様々な視点から学び、子どもに対しての知識を増やしていきたくです。常に子どもの立場になり、行動や感情を汲み取れるような保育者をめざします。夢へと近づくための一歩を踏み出した今、不安や困難に直面することもありますが、それ以上に期待や希望を持って前に進んでいきたいと考えています。一緒に同じ夢を追う仲間同士、支え合い、高め合い、時には切磋琢磨しながら日々を過ごしていきたいです。憧れの保育者になれるよう、笑顔で子ども達と過ごしている将来の姿に胸を膨らませ、日々努力し続けます。

「保育実習Ⅰ」を終えて

保育学科2年 猪狩 心愛



私たちは、1年次の1月末から20日間、保育所と施設で実習をさせていただきました。

保育所実習では、子どもたちの元気な姿や笑顔のおかげで楽しみながら実習に取り組むことができました。子ども同士の喧嘩が起きた時に、それぞれの意見を聞き、状況を把握した上で、お互いの気持ちを尊重する言葉がけをし、解決につながる事が重要であることを学びました。

施設実習では、職員の方や入所者の方が優しく話しかけてくださり、心がほぐれました。施設実習を通して、気持ちを伝えるには、ただ単に声かけを行うのではなく、表情、目線、声のトーン、速さ等を工夫し、個々の利用者さんに合わせて関わる事が重要であることを学びました。

初めての实習で、上手く行えるのか不安と緊張でいっぱいでしたが、実習を終えて多くのことを学び、新しい課題も見つかりました。今後の授業や実習を通して課題を乗り越えていきたいです。



業や実習を通して課題を乗り越えていきたいです。

ビジネスデザイン学科 (秘書科)

充実した大学生活に向けて

ビジネスデザイン学科1年 飯田 菜胡



私は、自分の将来に向けて新たな知識を得て、幅広い職業への視野を広げるために本学に入学しました。海外に興味があり、グローバルビジネスコースを選びました。

これからの大学生活では、世界のさまざまな異文化や時代背景などの事柄に触れ、学びを深め実践的な知識を身につけることを目標とし、充実した毎日を送りたいと思います。

また、学業だけでなく人との関わりも大切にしたいです。ボランティア活動や学外活動への参加は、地域社会に貢献でき、そこで出会った人たちと自ら会話をすることでコミュニケーション能力や協調性のスキル向上にもつながります。

2年後には社会人になるという自覚をもち、2年間という短い大学生活の中で自分の将来のキャリアに向けて歩みたい。そして、より一層自分を成長させていけるように何事にも積極的に挑戦し、悔いのない大学生活にしたいです。

滋賀短期大学との

交流会で得たもの

秘書科2年 山田 麻俐菜



3月1日、滋賀短期大学へ行き、医療事務を学ぶ学生さんと交流を行いました。

交流会を行いました。滋賀短期大学の学内案内で「秘書実技室」を見学しましたが、その教室は実際の会社の一室のようでした。また、ランチ交流では、滋賀県名産物である「赤こんにゃく」を振る舞ってくださり、普段食べている食材など、色々な話で盛り上がりました。

午後からの授業体験では、「アンブルとバイアル」の違いについて実物を用いて説明して下さったことが印象に残っています。また、会話をしながら、しおり作りもしました。今回の交流で、お互いの授業内容や生活などを知り、医療事務について学んでいる他大学の学生を身近に感じる事ができました。



より一層頑張ろうという気持ちになり、持ちになりました。

探訪/研究室

ビジネスデザイン学科秘書科 森 靖之



●自己紹介
東京の企業でアプリ開発の仕事に携わり、約30年前に地元香川県に帰ってきました。

着任当初は主にパソコンの授業を担当していましたが、年々医療事務の授業が増え、現在は担当する授業の半数を占めるようになり、医療事務の授業も楽しくなってきました。

●研究室の特徴

昨年まで医療事務コースの学生のみを担当していましたが、今年の入学生からヒューマンITコースと総合ビジネスコースの学生の一部を担当することになりました。さまざまなニーズに対応できる研究室にしていきたいです。

●研究室の学生へ一言

何でも新しいことに挑戦していきってください。短期大学で高等学校までと違う自分を発見してください。

●二十歳の時の自分

新たなことに挑戦するために外国へ目を向け始め、はじめてひとり外国（オーストラリア）を旅しました。

令和5年度 満足度アンケート結果報告

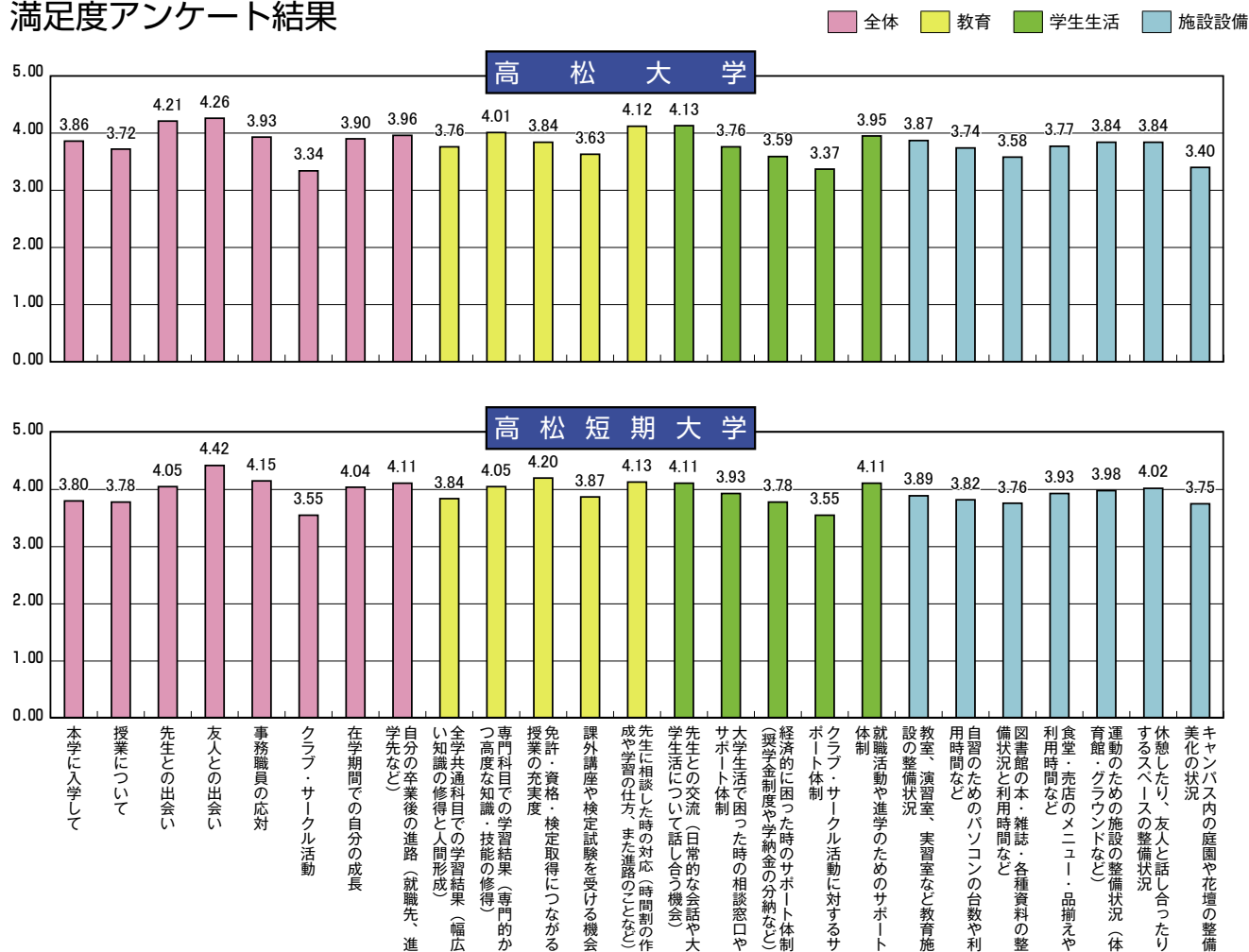
学生の在学期間内の満足度を調査することにより、教育支援と施設整備の状況を把握し、今後の改善に役立てることを目的に、卒業予定者を対象に毎年実施している。回収率は全体で52・3%であった。

大学・短大ともに、「友人との出会い」が一番高い評価値となった。その他、大学では先生との交流や対応について、短大では免許や資格等の取得についての項目で高い評価値となった。記述にも「出会いが自分を成長させてくれた」「親身になって相談にのってくれた」「資格を多く取得できた」等、好意的な意見が多く寄せられていた。

なお、例年要望が多い施設や食堂・売店の項目については、学生会館を改修・リニューアルしており、品数の充実に向けても引き続き改善への検討を進める。

より多くの学生の意見を回収できるようにアンケートの実施方法についても検討し、学生のための大学づくりにより一層力を入れていく。

満足度アンケート結果



【評価方法の説明】

- アンケートの回答方法は、「全く満足でない」「あまり満足でない」「どちらともいえない」「かなり満足」「非常に満足」の5段階で、評価値は1～5とした。
- 集計方法は、5段階評価値を平均し、その項目の評価値とした。

保護者教育懇談会ご案内

【日時】 令和6年9月28日(土)

9時～12時

【会場】 高松大学・高松短期大学

ゼミナール・研究室担当教員が、日頃の学生生活や修学状況、就職活動状況等について個別懇談を行うほか、学生生活や就職相談コーナーも設けます。詳細は、後日郵便でご案内いたします。

＜お問い合わせ先＞

学生支援部学生課 087-841-0864

経営学部講師 村山 昂



①危機コミュニケーション
ニケーション
管理論、経営
戦略論(経営
論、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、演習Ⅰ・Ⅱ等)

②埼玉県所沢市出身。趣味はお笑い番組を観ることやお菓子作り等。最近では日本庭園巡りにもハマり始めました。



経営学部教授 奥原 貴士

①簿記演習、
経営分析論、
簿記論対策演
習、財務諸表
論、財務管理
論、財務演習
論、財務管理
論

②長野県出身。趣味は映画鑑賞で、年間100本以上観ていた時期もありました。それと読書も好きです。

新任教員のプロフィール
①専門分野(授業科目) ②自己紹介

世界つながる 「留学生の声」

経営学を学び、ベトナムで輸入食品の販売会社を設立し、経営したい。



経営学部経営学科4年

フアム ティ トウさん
(PHAM THIEU THANH)

●日本に留学しようと思ったきっかけ、高松大学を選んだ理由を教えてください。

子供の頃からドラえもんやコナンを読んで自然と日本の文化に興味を持つようになり、留学を考え始めました。高校を卒業する頃には、その夢を実現したいという気持ちが強くなり、日本に関することをインターネットで調べたり、日本に留学している友達に聞いたりしました。日本に行けば、日本語はもちろん、日本

の文化もたくさん体験できると知り、両親と相談して日本への留学を決意しました。

日本語学校に入学し、香川県に2年間住んでみて、住みやすく、第2の故郷だと感じられるようになりました。日本語学校を卒業後、大学に進学するなら香川県の大学を選びたいと思っていました。高松大学に通うベトナム人の先輩数名から、留学生に向けた教育や学生生活について聞いていました。そして、オープンキャンパスに参加して、スタッフに大学のことを優しく丁寧に説明していただきました。それで、高松大学に興味を持ち、入学試験を受けました。

●スピーチコンテスト出場にあたり苦労したことや、終わってみて成長したなと感じることはありますか。

実は、スピーチコンテストに出たことがなかったので、テーマを決め、原稿を書くのに時間がかかりました。当初は、日本との文化の違いや学園祭について話そうと思っていましたが、家族と離れ、勉学とアルバイトを両立してみて、両親が私を育てるのにど

れだけ大変だったのかを知ることができたので、家族愛について話すことにしました。

私は、もともと人前に出て話すことが苦手でしたが、スピーチコンテストに参加し、少しずつ克服できていることが嬉しいです。スピーチコンテストを通して、自分が考えていることを周りに伝えることができたし、みなさんの意見も聞くこともできたので本当に良かったです。そして自信を持つことが大事だということに気づきました。

●将来の夢を教えてください。

両親が食品販売の店を経営しており、子供の頃から食品関係の仕事に興味がありました。両親と違って、販売だけではなく、貿易もしてみたいと思っています。具体的には、健康食品を扱う仕事がしたいです。その理由は、現在、ベトナムもいわゆる健康志向が高まり、自分の健康に気をつける人が増えてきたからです。日本の健康食品は大変良いので、将来は日本の健康食品をベトナムに輸入して、販売する会社を設立し、経営したいです。

人事異動

採用（令和6年4月1日付）

【大学】経営学部教授・奥原貴士▽同講師・村山昂▽ビジネスデザイン学科講師・水口文吾
部局長等（令和6年4月1日付）
大学副学長・出木浦孝▽経営学部長・藤原泰輔▽学生支援部長・神部順子▽学生支援部次長（教務担当）・田中弓子▽学生支援

部次長（学生担当）・糸目真也
▽入学センター長・土井理裕▽情報処理教育センター長・浮穴学慈▽子ども研究所長・横川和章

退職（令和6年3月31日付）

【大学】経営学部准教授・岡田龍哉▽同助教・白濱孝之▽同助教・林一慶▽保育学科准教授・岡谷崇史▽秘書科教員・上村秀樹▽同教授・松田圭司

認定こども園高松東幼稚園ニュース

年長さんのお祝いの言葉

4月12日、年少3歳児の進級・入園式が行われました。合計94名が新しく東幼稚園に仲間入りしました。式は賑やかにかつ厳かなものになりました。

在園児を代表して桜組さん（年長児）のお祝いの言葉の式次第になりました。それまで何となく入園の喜びに華やいていた雰囲気が一変したのです。進級・入園児が一斉に壇上の桜組さんにくぎ付けになりました。さらに傍らに付き添っているお母さん、お父さんも真剣顔。

その静けさに私は心地よさを感じたのです。お母さん、お父さんはそのとき何を思われたのでしょうか。自分の子どもの3年先の成長をイメージされたのでしょうか。そのとき親子の間で一言も交わされていませんでしたが、親子の間に確かに見えぬ会話が成立していたと思います。新学期が楽しみの式となりました。

（園長 中塚 勝俊）



令和6年度入学式挙行

4月2日、本学体育館で令和6年度入学式を挙行了。

佃学長は、「物事を始めるきっかけは、特別な事ではなく、皆さんの身の回りにたくさんある事に気づいてほしい」として「4つの建学の精神を自らの学びの指針として、今後の学生生活を充実させ、人間的な絆を豊かにし、自己実現を図っていただきたい」



と新入生を激励した。新入生を代表して、織田航輔さん（大学経営学部）と、井上ひなたさん（短期大学保育学科）が宣誓した。

織田さんは、「新しく出会う友



人や先生方との交流によって個性をさらに豊かにし、新しい考え方を身に付け、これまでは思いつかなかった発想ができる創造力を伸ばしていきたい」。

人との関係づくりができるコミュニケーション能力、チームで活動できる能力、自己を律し管理できる力など、職業人として必要とされる基礎的能力も身につけていきます。

そのため、知識を学ぶ科目に加え、経営者の話を直接聞いたり、実際に企業や地域を訪問し、目で見て肌で感じるなど、多様な科目が設定されています。

もちろん勉強だけではなく、生涯の友を作ったり、クラブ・サークル活動や大学祭などの各種イベントに参加することも学びになります。

学生の皆さんが大きく成長できる4年間となることを期待しています。

「高松教養大学」卒業証書授与式および入学式挙行

3月25日、本学多目的ホールで「高松教養大学」の卒業証書授与式が行われ、8期生19名が卒業した。卒業生を代表し、多田行一さんが謝辞を読み上げ、1年間の学びを締めくくった。

4月3日には、本学図書館ホールで入学式が挙行され、入学生を代表し、市原明子さんが入学許可書を受け取った。

キラリ☆輝く人

高松大学発達科学部 学生運営インスタグラムを開設・運営



発達科学部子ども発達学科4年
船江 優斗さん

学生運営インスタグラムは、高松大学の特徴や魅力を学生目線で発信することで、より身近に感じ、共に教職をめざす人が増えることを願って開設された。また、行事について発信することで在学生へ周知することも兼ねている。

「私が所属している児童教育コース（小学校教諭）の授業や書道部、ジャグリングファーム、げんき村といったボランティアの内容が多くなっていますが、今後、幼児教育コースの内容にも触れていく予定です。高松大学は教職員のサポートも手厚く、やりたいことを応援してくれます。幅広いボランティアを経験し、将来、現場に出る際に役立つスキルを身につけ、高め合える仲間が増えることを願っています。」と船江さん。

今年、教員採用試験を受験する予定だ。高松大学での経験を活かし、来春、子どもたちの笑顔あふれる学級運営に取り組むことを願う。



経営学部長 藤原 泰輔

「大きく成長する4年間にしよう！」 新学部長メッセージ

高松大学経営学部長は、地域社会や企業などの職業現場で活躍し、社会に広く深く貢献できる人材の育成をめざしています。

そこで、大学4年間で、経営に関する専門的な知識を学び、それを活用する能力を修得するだけではなく、多様な

編集後記

☆より魅力的で充実した情報発信をめざし、公式ホームページの改修を行いました。☆昨年度は体育館エントランス・トイレのバリアフリー化、学生会館の内装、講義室のデジタル化等の改修工事を行いました。現在は1号館トイレの改修工事を行っています。

(N)



9期生10名が、1年間の学びをスタートさせた。